

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR212	TCR_サービス実務 I	
科目名（コード）	TCR212	TCR_サービス実務 I	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CH2	単位数	2単位30
授業担当者	長島洋介	時間数	
成績評価教員	長島洋介	講義期間	春期
実務者教員	いいえ	履修区分	
実務者教員特記欄	本授業は、実務経験者による授業科目である。		

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	TOEIC600点以上合格を目指す 接客英語（Hospitality）に特化した専門英語の学習を目指す（接客英語検定）
全体の内容と概要	TOEICの過去問題を使用し、文法、単語などを徹底的に学び試験問題のパターンを学ぶ。プラス、ホスピタリティ業界専門用語やケーススタディを英語で学習し、実践的な接客英語やビジネス英語を学習
授業時間外の学修	自己英単語学習、各講義の予習と復習
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	自己紹介・講義内容説明・基本英語学習にてお互いの理解を深める	英語で自己紹介、講義内容と評価方法などを説明。日本の義務教育で学んできた英語よりさらにレベルアップした実践英語の学習法について説明
2	Session 1: 接遇英語の意味を学習①	日常会話・ビジネス英語・接遇英語の違いについて学ぶ
3	Session 2: 接遇英語の意味を学習②	宿題の確認 ペア・ワークでケーススタディを実践する
4	Session3: 英単語力をあげる方法を研鑽①	一つの英単語を類義語・反意語・ビジネス用語などに変換して語彙力をつける学習
5	Session4: 英単語力をあげる方法を研鑽②	宿題の確認 ペア・ワークでケーススタディを実践する
6	Session 5: 世界のホスピタリティの違いを理解	日本の「おもてなし」は世界ではどう評価されるかを研鑽
7	Session 6: 世界のホスピタリティの違いを理解	宿題の確認 ペア・ワークでケーススタディを実践する
8	Session7: TOEIC英語長文読解攻略①	TOEIC 練習問題実施①
9	Session8: TOEIC英語長文読解攻略②	TOEIC 練習問題実施②
10	Session9: TOEIC英語長文読解攻略③	TOEIC 練習問題実施③
11	Session10: TOEIC英語文法問題攻略①	TOEIC 練習問題実施（文法）①
12	Session11: TOEIC英語文法問題攻略②	TOEIC 練習問題実施（文法）②
13	Session12: TOEIC英語文法問題攻略③	TOEIC 練習問題実施（文法）③
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	